

公表: 令和5年 3月 27日

事業所名 放課後等デイサービス クローバー

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5				十分なスペースを確保し、活動を行うことが出来ている。
	② 職員の配置数は適切であるか	5				
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5				手すり等の設置はないが、必要に応じて設置していきます。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1			支援記録として記録し、支援者同士が共有しています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5				アンケートに協力を頂き、改善につなげていきます。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5				5月開所だった為、今回初めて公開する予定です。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3			実際に評価を受けるまでに行っていません。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1			社内研修の開催、外部研修への参加を行っています。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				児童発達管理責任者を中心に支援者間で情報共有を行い、計画書の作成をしています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	3			アセスメントシートでのアセスメントは行えているが、ツールをうまく活用できていない。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5				子ども達に経験して欲しい事や楽しんで欲しい事など支援者で意見を出し合っています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5				活動を設定し、状況やその時の状態に合わせて内容の修正などを行っています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2			きめ細やかには設定していないが、臨機応変に支援員間で話をしている。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1			個別支援計画にニーズに合わせて記載し、実施しています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5				支援前にミーティングを行い、前日の活動の様子と送迎時の様子、保護者の方との会話をした内容など共有

関係機関や保護者との連携	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5				しています。そして、意見交換をしたり、支援の方向性についても話し合いをし、送迎の確認や役割分担をして
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5				毎日記録を取り、活動の振り返りや個々の支援に活用している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	2			半年に1回の計画の見直しを行っています。必要に応じて計画の見直しを行うように努めます。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	5				支援を組み合わせで行っている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5				管理者、児童発達管理責任者が参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5				その都度連携を取り合うことが出来ている。学校に送迎に行った際には学校の先生と子どもさんの情報共有を行うことが出来ている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			5		現在、医療的ケアが必要なお子様の利用はありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			5		5月開所だった為、就学時の入所はありませんでした。来年度から行っていきます
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5				学校や関係機関との連携、情報提供など行うことが出来た。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3			直接的な連携や助言などはなかった。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5				音楽祭を開催し、中学生との交流を行いました。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		5			自立支援協議会への参加はしていませんが、地域の連絡協議会への参加はしています。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5				入所前に説明させてもらっています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5				いつでも相談してもらえるような関係性が出来てきています。必要に応じて対応できています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5				活動を見学してもらったり、親子レクレーションなども行った。何でも話せる会の開催もしたが、連携の支援までには繋がらなかった。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5				管理者や児発管を中心に、迅速な対応をしています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5				ホームページにて発信しています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	5				
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1			連絡帳や電話や、ラインなど、必要に応じて連絡の取りやすい方法をとれるように柔軟に対応しています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5				近所に住む方との交流を行い、顔のわかる関係性になれています。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2			職員は把握できていても、保護者への周知が行えていなかった。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	2			今年度は2回行っている。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5				事業所内で虐待防止のための研修を行った。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5				身体拘束の必要性について、ご家族と確認をしている。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5				契約時にアレルギーの有無を確認し、冷蔵庫に掲示し全員が把握している。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	2			事例集は作成できていないが、ヒヤリハットについて情報を共有しあい、再発防止に努めています。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。